

社会福祉法人尼崎稲葉園

令和 4 年度

事 業 報 告

■基本理念

利用者の人権の尊重とプライバシーも遵守を基盤に、利用者の障害の特性と意向を理解して相互に信頼し合い、自立に向けて支援するとともに、心豊かに地域社会で暮らせる事に努める。

■運営方針

- ① 利用者一人ひとりの人権を尊重し、プライバシーの遵守
- ② 虐待防止の徹底
- ③ 個人情報保護の徹底
- ④ 個別支援計画に基づいた支援
- ⑤ 自立(自助)と共助の精神を高める支援
- ⑥ 地域社会との結びつきを深め、ノーマライゼーションの理念を大切にし、地域と一体となった施設運営

■事業運営・概要

全事業の主たる対象者：身体障害者

種 別		事業名	定員	利用者数※
第一種社会福祉事業	障害者支援施設の経営	施設入所支援	52 名	48 名
第二種社会福祉事業	障害福祉サービス事業の経営	生活介護	52 名	48 名
		就労継続支援事業 B 型	28 名	11 名

※令和 5 年 3 月 31 日現在

■理事会・評議員会等

理 事 会	
開催日時	審 議 議 案
4.4.1	①社会福祉法人尼崎稲葉園理事長の選定について
4.6.7	①令和 3 年度社会福祉法人尼崎稲葉園事業報告について ②令和 3 年度社会福祉法人尼崎稲葉園会計決算について ③令和 4 年度社会福祉法人尼崎稲葉園定時評議員会の開催について 報告事項①虐待防止対応規程、身体拘束対応規程の修正について 報告事項②尼崎市立身体障害者福祉会館の取り壊しについて
4.10.26	報告事項①令和 4 年度上半期理事長職務執行状況報告
5.3.20	①令和 4 年度社会福祉法人尼崎稲葉園補正予算について ②令和 5 年度社会福祉法人尼崎稲葉園事業計画について ③令和 5 年度社会福祉法人尼崎稲葉園予算について ④社会福祉法人尼崎稲葉園給与規程の一部改訂について ⑤令和 4 年度第 2 回社会福祉法人尼崎稲葉園評議員会の開催について 報告事項①令和 4 年度下半期理事長職務執行状況報告

評 議 員 会	
開催日時	審 議 議 案
4.6.27	①令和 3 年度社会福祉法人尼崎稲葉園会計決算の承認について 報告事項①令和 3 年度社会福祉法人尼崎稲葉園事業報告について
5.3.29	①令和 4 年度社会福祉法人尼崎稲葉園補正予算について ②令和 5 年度社会福祉法人尼崎稲葉園事業計画について ③令和 5 年度社会福祉法人尼崎稲葉園予算について

監 事 監 査	
開催日時	内 容
4.5.30	令和 3 年度（令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日）における理事の職務の執行状況および財産の状況について

■令和 4 年度重点事項

1. 個別支援計画

〔支援の課題把握〕→〔支援計画策定〕→〔支援の実施〕→〔支援の評価〕の徹底

各利用者、半年ごとに支援計画の見直しを行うことを原則とし、1 ヶ月に 3 回程度支援計画会議を開催し検討した。期間内に見直しが必要な場合は随時会議を開催した。

2. 新型コロナウイルス感染症予防の徹底

4 年 11 月～12 月に利用者 38 名職員 10 名が罹患する集団感染が発生した。

集団感染の対応、防護資材の不足により困窮しているところ、兵庫県身体障害者支援施設協議会様から援助をいただき、対応の教示、資材の援助をいただく。その際、協議会所属の施設から職員 1 名の遣を受け対応にご尽力いただいた。

また、4 年度も行事の中止を余儀なくされ、コロナ渦にあっては帰宅、家族との面会、外出に制約があり多くの方にご迷惑をかけることになったが、利用者、ご家族等のご理解ご協力のもとに感染防止対応を行った。

なお、手洗い消毒等の衛生管理により、今年度もインフルエンザ患者の発生はなかった。

3. 利用者の高齢化、障害の重度化への対応

介護者および利用者の負担軽減を図るために、支援員同士で介助の仕方や手法の意見を出し合い、適切な介助ができるように努めている。

虐待防止身体拘束防止について、職員 5 名程度を 1 グループとして施設内研修を行った。また、阪神北地区の施設による研修会に支援員 2 名参加し、他施設での取り組みについて学習した。

4. 職員の人材確保・育成に努める

職員の確保と離職防止に向けた取り組みを進め、労働環境が改善できるように努めてきたが、夜間の支援員完全2名体制には到達できなかった(1ヶ月の約半分が1名体制となっている)。

■利用者支援

基本理念と運営方針に基づき、利用者の人権を重んじ支援サービスを提供することに努めてきた。

新型コロナウイルス感染予防による「密」の回避および利用者の高齢化障害の重度化による生活支援の増加のため、日中活動の生産活動時間の縮小を余儀なくされ、事業収入、利用者工賃が減少している。しかし、利用者の作業意欲は高く、引き続き昨年度と同様に作業の受注は利用者の状況を考慮しながら作業量の確保に努める。

1. 令和4年度月別利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活介護・入所支援	48	49	49	49	49	50	50	50	49	49	48	48
就労継続B型	11	11	11	11	11	11	11	11	0	11	11	11

2. 作業受注状況

令和5年3月31日現在 (単位：円)

	令和4年度	令和3年度	増減額
作業工賃収入	4,200,830	4,751,534	-550,704
利用者工賃	2,075,705	2,836,311	-760,606
材料費	1,038,550	845,284	193,266
経費	1,086,575	1,069,938	16,637
差引損益	0	1	-1

3. 利用者健康診断

第1回【胸部レントゲン・心電図検査・聴力検査・尿検査・血液検査】(令和4年8月2日)

利用者 60 名受診

第2回【血液検査】(令和5年1月20日) 利用者 57 名受診

4. 施設の行事等

新型コロナウイルス感染防止および集団感染発生のため、今年度の稲葉園祭、日帰り遠足は中止を余儀なくされた。

■避難訓練

令和4年9月28日	避難訓練(夜間想定)	利用者40名職員11名	
令和4年10月5日	通報消火訓練	職員10名	西消防署員指導
令和4年11月9日	通報消火訓練	職員7名 武庫之荘総合高校実習生3名	西消防署員指導
令和5年2月8日	通報消火訓練	職員10名	西消防署員指導
令和5年3月8日	避難訓練(昼間想定)	利用者42名職員9名	

■会議の開催

個別支援計画会議	月3回程度実施
生産活動評価検討会(就B支援計画会議)	年2回実施
ケース会議	必要時
支援係ミーティング	毎朝実施
給食委員会	3ヶ月に1回実施
事故発生防止委員会	年4回実施
虐待防止委員会	年2回実施
身体拘束防止委員会	年2回実施

■地域社会に貢献する取り組み

地域において公益的な取り組みを行う

《地域福祉の向上に向けた活動》

- ・ボランティア、福祉人材の育成(実習生の受入等)

【実習受入】

県立武庫之荘総合高校福祉探求科2年生4名受入れた。

新型コロナウイルス感染対策により、9月～11月に随時受入した。

■職員研修

職員施設内研修

令和4年10月5日	・虐待防止身体拘束対応研修 ・消防通報訓練・消火器訓練	講師：施設長 事業課長	8名
令和4年11月9日			8名 (実習生2名)
令和5年2月8日			6名

施設外研修

令和4年6月22日	食品衛生責任者実務者講習会	尼崎市食品衛生協会	調理師1名
令和4年8月5日	社会福祉法人経営計画普及セミナー	兵庫県社会福祉協議会	施設長1名
令和4年8月26日	高齢者福祉施設等での円滑な医療提供支援研修	兵庫県	施設長・看護師 嘱託医
令和4年9月9日	安全運転管理者講習	兵庫県公安委員会	事業課長
令和4年10月5日	障害者虐待対応力向上研修	兵庫県社会福祉士会	3名
令和4年10月21日	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修基礎編	福祉人材研修センター	2名
令和4年11月21日	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修実践編	福祉人材研修センター	1名
令和4年12月16日	法人経営トップセミナー	兵庫県社会福祉法人経営者協議会	理事長
令和5年1月16日	BCP策定研修	兵庫県障害福祉課	施設長
令和5年1月27日	社会福祉法人のための財務セミナー	兵庫県社会福祉法人経営者協議会	理事長 施設長
令和5年2月7日	自衛消防熟練者講習	尼崎市消防局	1名
令和5年3月2日	障害者の虐待防止について	阪神県民局宝塚健康福祉事務所	2名
令和5年3月8日	社会福祉法人研修会	尼崎市法人指導課	施設長